



県南広域振興局プレスリリース (令和4年7月12日)

釜石港国際物流ルートを活用したチャーター便の運行 (第1回目) について

県南広域振興局では、県内食品関係等企業の輸出促進に向け、地元企業による県内港湾を使った物流ルートの利用を推進しています。

この度、これまで実証してきた当該ルートを活用したチャーター便が運行することとなりましたので、お知らせします。

また、当チャーター便を活用した輸出に取り組む企業を広く募りますので、周知及び取材についてよろしくお願いたします。

記

1 当該ルートのビジネス運行の概要

(1) 実施事業者：白金運輸株式会社 (奥州市江刺稲瀬字沼館 69 番地 代表取締役社長 海鋒 徹哉)

(2) 輸送方法

【常温混載】

- ①対象荷物：ドライコンテナを利用する本県で製造 (生産) された商品
- ②輸送経路：江刺 CFS 倉庫にて行先に係わらず荷物を混載 (通関) ⇒釜石港 ⇒韓国・釜山港 (再仕分け) ⇒各仕向港へ

【冷凍冷蔵コンテナ】

- ①対象荷物：リーファーコンテナを利用する本県で製造 (生産) された食品
- ②輸送経路：釜石港 (提携冷蔵倉庫等で通関) ⇒各仕向港へ直送



2 今回実施する輸出内容

上記1-(2)に記載する常温混載による輸出が決定したものの。

- (1) 参加企業：岩手県産株式会社 (紫波郡矢巾町流通センター南 1-8-9 代表取締役 佐藤 学)
株式会社ペアレン醸造所 (盛岡市北山 1 丁目 3-31 代表取締役 鳥田 洋一)
- (2) 輸出する商品：胡麻ドレッシング、醤油、つゆ、ミルクキャラメル、ラーメン、うどん、そば、ぶどうジュース、南部鉄器、ペアレンビール (20 フィートコンテナ 1 個)
- (3) 輸出先：中国 (仕向港 大連港、上海港)
- (4) 輸送スケジュール (現時点での予定)
内陸 CFS 積込：7月19日 ⇒釜石港出港：7月24日 ⇒釜山港入港：8月1日 ⇒
大連港到着：未定、上海港到着：未定

3 県南広域振興局の輸出に係る今年度の取組について

(1) 輸出促進・地域商社設立研究会の設立、活動支援

今年度から、県南地域を中心に、輸出への意欲の高い企業等で構成する当該研究会を立ち上げ、主に以下の内容に取り組みながら、企業の輸出促進に繋がる事業を推進するとともに、入会を希望する企業を募集している。(令和4年7月現在の会員企業数 21 社)

- ① 会員企業の輸出に係るスキルアップ
- ② 地域商社設立に係る研究
- ③ 新規海外マーケットの調査及びテストマーケティング
- ④ 釜石港小口混載輸出ルートの利用促進

(2) 当該ルート利用促進に向けた取組

当該ルートの円滑な運行のためには、利用企業数を増やすことが課題であり、引き続き、全県の企業に対し「県産品を岩手の港から」という意識の醸成とともに当該ルートのコストメリットのPRに努めている。

担当：経営企画部産業振興室 観光商業・食産業課長 荒濱、主任主査 薄衣 電話 0197-22-2843
：白金運輸株式会社 営業管理部 国際物流課 吉田 齊藤 電話 0197-31-0321